

イベント 浄化センター施設見学会を開催します



問い合わせ 下水道課施設担当☎042-989-2771✉link@city.hidaka.lg.jp

下水道は、皆さんの生活を安全・快適にするだけでなく、水の循環を守るためにも欠かすことのできない重要な施設です。生活の中で生じる汚水が、どのような過程を経てきれいになっていくのか、見学してみませんか。

期日 9月8日(日) (雨天決行)

時間

- ①午前9時15分～10時30分
- ②午前10時45分～正午

場所 浄化センター(高萩1385番地1)

対象 市内在住・在勤の人

人数 各回20人(申し込み順)

申し込み 8月13日(火) から30日(金) までに、電話またはメールで担当へ

※メールは件名を「施設見学会申込」として、希望の時間、在住・在勤、人数、住所、氏名、電話番号を明記してください。

注意事項

- 参加する時間の開始10分前までに浄化センター正面玄関前へお越しください。
- 熱中症対策をして、動きやすい服装でお越しください(サンダル不可)。
- 下水処理場なので、マスクの着用を推奨します。



お知らせ 下水道だより④(下水道施設の償却資産の状況)



問い合わせ 下水道課業務担当☎042-989-2771

汚水を流すための下水道管や、流れてきた汚水を処理する設備といった下水道の施設(資産)は、土地を除き、使用していく中で資産価値が年々減少していきます。このような資産を「償却資産」と言います。

そして、資産価値の減少額の積み上げを「有形固定資産減価償却累計額」と言います。

償却資産を取得した際の価値である「帳簿原価」に対して「有形固定資産減価償却累計額」がどの程度あるのかを割合で見ると、償却資産の老朽化の目安となります。

次の表は、償却資産の老朽化の度合いである「有形固定資産減価償却率」を示したものです。

有形固定資産減価償却率の推移

決算年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
有形固定資産減価償却累計額 (単位：百万円)	12,548	13,056	13,569	13,949	14,448
帳簿原価(単位：百万円)	27,485	27,684	28,152	28,888	29,012
有形固定資産減価償却率(単位：％)	45.65	47.16	48.20	48.29	49.80

毎年度、老朽化した施設を順次更新しているものの、有形固定資産減価償却率は少しずつ割合が上昇しており、施設更新のペース以上に、老朽化が進行していることが分かります。

安定した下水道事業の継続のため、今以上のペースで、今後も適切に施設を更新していくには、高額になっていく工事費を賄うべく、下水道事業の内部留保資金を増やしていくための取り組みや、必要に応じた企業債の借入れを行い、より財源を確保していくことが求められます。

下水道事業の将来を見据えながら、安定した経営を目指して取り組んでいきます。

お知らせ

エネルギー需要が増大する今！
節電の取り組みを始めませんか？



問い合わせ 環境課生活環境担当

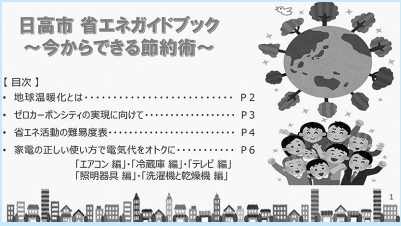
市では、カーボンニュートラルに向けた基本的な道筋を示す「日高市カーボンニュートラルに向けたロードマップ」を策定し、地球温暖化対策の取り組みを進めています。

特にエネルギー需要が増大する夏季には省エネ・節電の取り組みが重要になります。省エネや節電は、温室効果ガスの排出量も削減できて一石二鳥です。

日高市 省エネガイドブック
～今からできる節約術～



家庭で誰でも今すぐに取り組むことができるお得な節約術をまとめたガイドブックです。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



日高市カーボンニュートラルに向けたロードマップ



ロードマップでは市が令和32(2050)年までに目指すビジョンを示しています。市・市民・事業者などがそれぞれ主体となり、カーボンニュートラルに向けて取り組むことが望まれます。



埼玉エコライフDAY&WEEK



簡単な項目にチェックすることでエコライフを体験できます。

ライフスタイルを見直すきっかけにしてみたいかがでしょうか。

実施期間

9月30日(月)まで

参加方法

県ホームページから



▲コバトン・さいたまっち

Small Action For the Future



6月26日に、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの一つとして、ニチバン株式会社の実施する「Small Action For the Future」の賛同企業となりました。



くりっかの可燃ごみレポート

各家庭から出された可燃ごみの速報値です

令和6年6月の可燃ごみ		昨年同月との比較
全体量	801.07 t	－ 100.92 t
処理費用	35,247,080 円	－ 3,448,291 円
1人当たりの量	14.76 kg	－ 1.79kg
1人当たりの処理費用	649 円	－ 60 円

問い合わせ 環境課廃棄物対策担当

暑い日が続くと、水分補給の機会が増えることから、缶飲料やペットボトル飲料の消費が多くなります。缶やペットボトルは貴重な資源です。ごみに出すときは、しっかりと分別してリサイクルしましょう。



※数値は四捨五入しています。
※処理費用は、全体量に44,000円／tを乗じたものです。
※1人当たりは、当該月の総人口を基に算出しています。

